

# イノアックCSRレポート2015

INOAC CSR REPORT 2015



# 一本の大きな木を育てるより、 多くの個性ある木を育て、美しい森をつくる。

イノアックは「暮らしをもっと豊かにしたい」という思いから、ひとつの事業に特化することなく、ウレタン・ゴム・プラスチック・複合素材という4つの苗をもとに、多くの事業(=木)を育て、企業体として多彩な製品、サービスを作り出し、社会へ貢献して参りました。イノアックはこれからも多くの個性ある木を育てることで、時代のニーズにお応えしていきます。

## Innovation & Globalization

イノアックは高分子化学で世界をリードし、迅速な決断と行動で、活気と個性に満ちたグローバル集団を目指します。それと共に「行動指針」を定め、社内外ともに裏表のない行動で「企業理念」を確実に実行・実現することで、地域社会、顧客、イノアックに関わる全ての人々に信頼されるブランドを確立します。

## 行動指針

- 挑戦** 自由に発想し失敗を恐れず行動します。
- 収益** 継続的な事業発展と利益ある成長を目指し行動します。
- CS** 顧客満足度を高めるよう行動します。
- チームワーク** 個性を発揮し、信頼される行動をします。
- 誠実・信頼** 虚偽を廃し、信頼される行動をします。
- 責任** 責任を持って最後まで行動します。

## 目次

企業理念・編集方針	01
トップインタビュー	02
会社プロフィール	05
<b>【特集】</b>	
環境ソリューションへの貢献	08
<b>【環境との調和】</b>	
環境マネジメント	15
環境負荷の低減	17
化学物質の情報管理	19
環境コミュニケーション	20
<b>【価値向上のために】</b>	
お客様の声を活かした製品づくり	21
サプライチェーンマネジメント	22
<b>【社会とのコミュニケーション】</b>	
社会・地域貢献活動	23
<b>【働きやすい職場づくり】</b>	
ワークライフバランスの推進	25
ダイバーシティの取組み	26
人材育成	27
安全衛生・防災	28
<b>【ガバナンス】</b>	
コーポレート・ガバナンス	29
コンプライアンス	30

【報告期間】 本報告書は株式会社イノアックコーポレーションにおける2014年度(2014年1月1日~2014年12月31日)の活動実績をもとに作成 ※2013年度以前・2015年度の内容も一部含まれます。

【対象範囲】 株式会社イノアックコーポレーション

※一部は海外のイノアックグループを含みます。※環境報告の対象範囲は以下の通り 株式会社イノアックコーポレーション(安城事業所・桜井事業所・八名事業所・南濃事業所・池田工場・池田第二工場・大野工場・神野工場・本社(名古屋)・東京支店・大阪支店)株式会社イノアック住環境の一部を含みます。

【参考とするガイドライン】 ©「環境報告書ガイドライン2012年度版」 ©GRIサステナビリティ・レポート・ガイドライン第3.1版 ©ISO026000

## トップインタビュー

ポリウレタンの歴史とともに歩んだ60年を迎え、今後イノアックがめざす未来、またイノアックのCSRについて、株式会社イノアックコーポレーション 代表取締役 翁 豊彦が思いを語ります。



株式会社イノアック コーポレーション  
代表取締役

翁 豊彦

# 多様性は個性。さまざまな個性を育む豊かな「森づくり」に、今後も邁進します。

創業より長い歴史を誇る貴社は、社会のあらゆるニーズに  
適応し、今日のビジネスモデルを築かれていることが実に  
印象的です。まずは、これまでの歴史の簡単な振り返りをお  
願います。

創業は1926年に、自転車用のタイヤチューブの取り扱い  
をはじめ、その後、会長の井上が1954年にドイツのバイ  
エル社から、日本で初めてウレタンの技術を導入し、その  
翌年1955年に日本で初めて生産を開始しました。これを  
機に、エム・テー・ピー化成を設立し、その後、井上ゴム工  
業の工業用ゴム・プラスチック部門と統合して現在のイノ  
アックコーポレーションが誕生しております。

そのウレタンが今や、わたしたちの生活になくはならない  
モノになっていますが、その特徴とは？

ウレタンの材料は、活用の幅が実に広く、クッションやマッ  
トレス、台所のスポンジなど生活用品からはじまり、

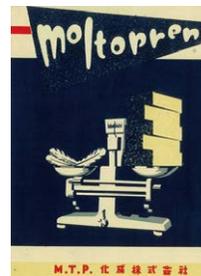
モータリゼーションの発展により自動車、ビルディングなど  
幅広い用途へと革新的な成長を遂げました。ウレタン  
材料は優れた機能を有する材料です。例えば、断熱性や  
吸音性にも優れていることより、人々のライフスタイルを  
変える、という画期的な材料であります。当社は、まさに  
日本経済の発展とともに成長し、その結果、ウレタン業界  
のリーディングカンパニーとして頑張っております。

まさに、社会の変化に適応してきたことが、イノアックという  
社名に表されているとのことですが？

INOACの社名には「常に革新<Innovation>し続  
けること」と「それを実践<Action>し続けること」と  
いう意味が込められています。そして常に上を目指す  
「革新=Innovation」と「実践=Action」を欠くこと  
はできません。



1950年当時のバイエル社



日本で初めて「モルトブレイン」を生産販売

Innovation  
+ Action  
INOAC

社会的責任の視点と、環境問題や規制にどう対応していくかが問われ、「PU国際フォーラム2015」を開催された背景にも、イノベーションという決意の表れを感じます。

今回4回目になる「PU国際フォーラム」の開催に当社も協力させていただきました。欧州諸国を中心に、環境規制などの問題が厳しく追求され、社会的責任として対応すべく、これまでのウレタンに勝る技術やビジネス、環境関連など、様々な視点から業界全体で議論しました。世界各国から有識者が集まり、将来のウレタン技術、業界、環境問題について有意義な意見交換ができたのではないかと思います。

すでに当社の生産の多くは、海外にシフトされ、国内外シームレスな状態（14ヵ国70拠点）ですが、当社が単独で推進するのではなく、リーダーシップをとって業界全体を巻き込みながら、グローバル全体で貢献していくことで、この素晴らしい材料を永続的に成長させようと強く感じております。

井上会長が「全員がアキンド」と話されておりますが、日本人ならではの忘れてはならない貴社の強い精神についてお聞かせください。

モノを売るというのは、営業の質だけではない。全員でモノを作り、全員でモノを売るということです。

モノを売るのは営業の仕事ですが、モノを作っている人も、自社のモノを売る機会は多くの場面においてあります。技術でも、管理部門でも全員が商人であり、自分たちが苦勞して開発してつくったモノを全員で売ろうということ。非常に素晴らしい精神だと思っていますし、これは当社における、DNAともいえるスピリットだと思っています。

環境事業を立ち上げられましたが、長年培われてきた貴社のスキル、ノウハウがすでに強みとして結果に出ているかと思いますがいかがでしょうか。

ウレタンは、断熱性を始めとする環境性能にも優れており、必然的に環境事業に結びついています。

この環境事業は、大きく7つの分野からなり、クリーン素材・水環境対応ビジネス・農業緑化ビジネス・省エネルギー・リサイクル・コンフォート・再生エネルギーなどに取り組んでいます。人々が生きていく社会の中で、環境問題と高齢化問題は非常に重要な問題であり、その中の一つとして環境を、事業の柱にしていくことで対応していきます（詳細はP8-9参照）。

また、ものづくりの革新からも環境対応ということで、当社の八名工場に「YESシステム（八名エコロジーシステム）」という、フロンの代わりに炭酸ガスを使った、環境負荷の少ない製造ラインをつくりました（詳細はP14参照）。単にモノを売るだけでなく、モノづくりのプロセスを変えていくということを強く意識し、同時にCO<sub>2</sub>排出量削減にも貢献していきたいと考えております。

社長がけん引されてきた自動車関連製品は、現在、売上高シェアの6割前後ですが、自動車業界も環境規制からFCV、HV化、小型EV化というような大きな変革を迎えています。こちらの対応は？

ハイブリッド、電気自動車、燃料電池などに対し、当社の持つ材料は、発泡することでモノを軽くする機能を持っているということです。これまで単に、ソリッドで固くて重かったものを、膨らませて軽量化し、それが最終的に自動車のボディが軽量化し、少ない燃料で車の走行距離を伸ばす。同時に、地球温暖化防止に貢献できるというモデルです。この分野における私たちの果たす社会的使命や役割は、非常に大きいと思っています。



PU国際フォーラム2015



八名工場

**断熱性や吸収性、遮音性といった、ウレタンの特徴を活かすためには、貴社の技術や知財、ノウハウが重要な要素かと思いますが、いかがでしょう。**

当社のコアテクノロジーは、材料とプロセス。ただ単に形を作るだけではなくて、ゴムであり、ウレタンであり、樹脂であり、そういった一つひとつの組成分からいろいろなものをコンパウンドしながら、あるいは組み合わせながら新しい材料を作っていく。

新しい革新的な材料を使って、多様な作り方、工程・プロセスを開発して新しい機能を生み出す形をつくっていく。材料とプロセスが、当社のイノベーションの基であり、コアテクノロジーと考えています。

ただし、「品質」と「安全」は最優先です。国内外全ての拠点の安全点検、設備点検、メンテナンスを行うと共に、全ての拠点で品質点検を行い、特に重要品質については管理状態の「見える化」を徹底しております。

**グローバル化が進む中、現地での社員採用や、人材育成に力を入れているとのことですが、その点についてお聞かせください。**

当社のDNAを大切にしつつも、グローバル化の中において、現地のカルチャーをリスペクトせねばなりません。その国の庭をお借りするつもりでビジネスをやるということです。その国のカルチャーを尊重し、ローカルの人たちと一緒に、その国に貢献しながら、ビジネスを発展させていく視点が大切です。

また、私たちが長く続けている「QC世界大会」では、優秀なチームを集め発表したり、グローバル営業会議や、グローバル技術会議などにおいて交流を深め、社員に率先して参加してもらい、集まってきた人たちと交流して、人脈を構築していくことも大切なことだと考えております。

**グローバル展開における課題についてはいかがでしょう？**

グローバルでは、ますます労務問題や人権問題は大きくなっていると言えます。同時にそれらの解決策は非常に重要なのですが、「性別、国籍、年代などあらゆる要素は個性ととらえる」と発信している通り、各地の問題を抱えながら課題の一つひとつを解決し、その地の習慣を尊重することが、大切な要素かと思えます。

**女性の活躍・登用が、企業間でクローズアップされておりますが、貴社の取り組み状況は？**

当社は既に、ワークライフバランスを実現し、多様な働き

方を選択できる取り組みを行っております。育児休暇は最長2年で、育児短時間勤務制度の導入や、法律を上回る看護休暇制度などの両立支援にも積極的に取り組んでいます。女性社員の育児休暇取得率は100%。育児休暇後も、復職する社員がほとんどであり、比較的仕事を続けやすい環境にあるかと思えます。

反面、女性社員の比率、女性管理職の比率が圧倒的に少ない点については、まだまだ改善していかなければなりません。女性社員を技術開発、製品開発、マーケティングなどへ積極的に登用し、参加を促進・加速していかなければならないと考えております。

**最後に、実に印象の強い、企業理念についてお話しください。**

当社の企業理念は「一本の大きな木を育てるより、多くの個性ある木を育て、美しい森をつくる」です。性別、国籍、年代などあらゆる要素は個性と捉え、その多種多様な個性を引き出し、大切に育み、イノアックという森を豊かに美しくしていきたいと考えています。



QC世界大会



海外グループ会社による社会貢献活動

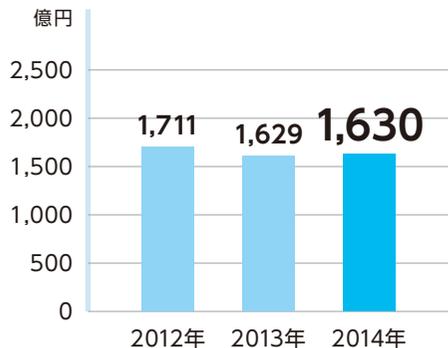


## 会社概要

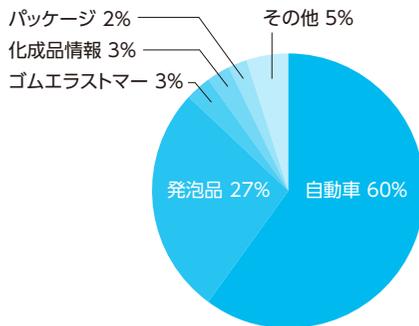
社名	株式会社イノアックコーポレーション INOAC CORPORATION
設立	1954年(昭和29年)
資本金	7億2,000万円
代表	代表取締役 井上聡一
社員数	1741名(2014年12月)
売上高	1630億円(2014年12月)
事業内容	ウレタン、ゴム、プラスチック、複合材をベースとした材料開発とその製品化により、自動車、二輪、情報・IT機器、住宅・建設関連から身近な生活関連商品、コスメ用品まで、様々な場面に密着した製品を取り扱う
本社	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南二丁目13番4号
本社(東京)	〒141-0032 東京都品川区大崎二丁目9番3号(大崎ウエストシティビル4F)
事業所および工場	安城、桜井、南濃、西濃、新城、八名、九州、豊橋、武豊、吉良
主要営業拠点	東京、中部、大阪、九州(支店)、札幌、東北、浜松、広島(営業所)
研究所	株式会社イノアック技術研究所
海外拠点	北米、欧州、中国、韓国、東南アジア、スリランカ

## 売上

■ 売上推移



■ 2014年度事業分野別売上



## ネットワーク

### 国内主要拠点

イノアックコーポレーションの全国ネットワークに加え、系列・関連・合併会社が北海道から九州まで緊密な生産・販売ネットワーク体制を確立し、最適なソリューションを提供しています。

井上護謨工業(株)  
(株)イノアックインターナショナル  
(株)イノアック技術研究所

〈系列会社〉  
(株)北海道イノアック  
(株)東北イノアック  
(株)東日本イノアック  
イノアックエラストマー(株)  
(株)西日本イノアック  
(株)九州イノアック

〈合併会社〉  
BASF INOAC ポリウレタン(株)  
(株)ロジャースイノアック 他

〈関連会社〉  
(株)イノアック住環境  
日本フクラ(株)  
(株)イノアックリビング 他

イノアックコーポレーション 本社  
イノアックコーポレーション 安城事業所  
イノアックコーポレーション 本社(東京)

### 海外主要拠点

北米・アジアを中心として、全世界14の国と地域で研究開発から素材の加工・成型技術、量産化までを提案・提供する体制を構築しています。

- 〈ヨーロッパ 1社〉  
ドイツ 1社
- 〈北米・中米 18社〉  
アメリカ 12社  
カナダ 3社  
メキシコ 3社
- 〈中国 24社〉  
中国本土 23社  
香港 1社
- 〈アジア 31社〉  
タイ 14社  
台湾 3社  
インドネシア 4社  
ベトナム 3社  
韓国 1社  
シンガポール 3社  
フィリピン 1社  
マレーシア 1社  
スリランカ 1社



# 製品紹介

ウレタン、ゴム、プラスチック、複合材をベースとした材料開発とその製品化により、自動車、二輪、情報・IT機器、住宅・建設関連から身近な生活関連商品、コスメ用品まで、生活の様々な場面に密着した製品で豊かな暮らしに貢献しています。



シートクッション



鉄道車両部材



軽量盛土・R-PU工法

ウレタン



地中熱交換システム用パイプ U-ポリパイ

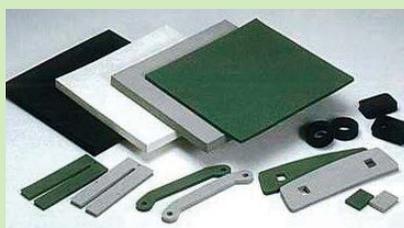


高透明化粧容器

プラスチック



リアスポイラー



シール部材

ゴム・  
エラストマー

新素材・  
複合材



保冷輸送容器



ラテックススポンジパフ



車輪



炭素繊維強化プラスチック



半導電機能ローラ

# 技術革新

## 研究開発

イノアックでは「暮らしを豊かにする」をモットーに、未来を見据え、創造性にあふれた研究開発に取り組んでいます。ポリマーを主体として各種ウレタン、プラスチックやエラストマーの配合・発泡・成形技術、その他複合材料の技術を駆使し、自動車産業をはじめ情報通信・電子機器・産業資材・生活用品等の幅広い分野で常に新しい素材を提供しています。また同時に、環境負荷の軽減、軽量、省エネルギー、高機能化の新製品、新プロセスの研究・開発を進めています。



## 研究体制

期待を超えるものづくりの実現のため、産業界の先端領域における新素材の開発を核に、環境技術、高機能素材開発、安全技術についての重点的な取り組みをイノアックグループのR&D部門であるイノアック技術研究所で担っています。イノアック技術研究所は中国 (ITC CHINA)、アメリカ (ITC USA)、タイ (ITH) にも拠点をもち、4極で作用しあえる総合R&D部門としてグローバルなネットワークで国内外の新技術に関する情報をいち早く収集し、中・長期的視点から、新規事業主体の研究開発に取り組んでいます。またイノアックコーポレーション各事業部直轄の技術部ではマーケットニーズに直結した技術開発に取り組み、短・中期的視点から、各部門との連携により幅広い素材の選択肢を活かした、既存事業分野主体での技術開発を行っています。



**ITC JAPAN**  
株式会社イノアック技術研究所



**ITC CHINA**  
蘇州井上高分子新材料有限公司



**ITC USA**  
INOAC USA INC.



**ITH THAILAND**  
INOAC (THAILAND) CO., LTD.

# 環境ソリューションへの貢献

## イノアック環境事業スタート

これまで培ったイノアックの技術を、  
これからは地球のために。

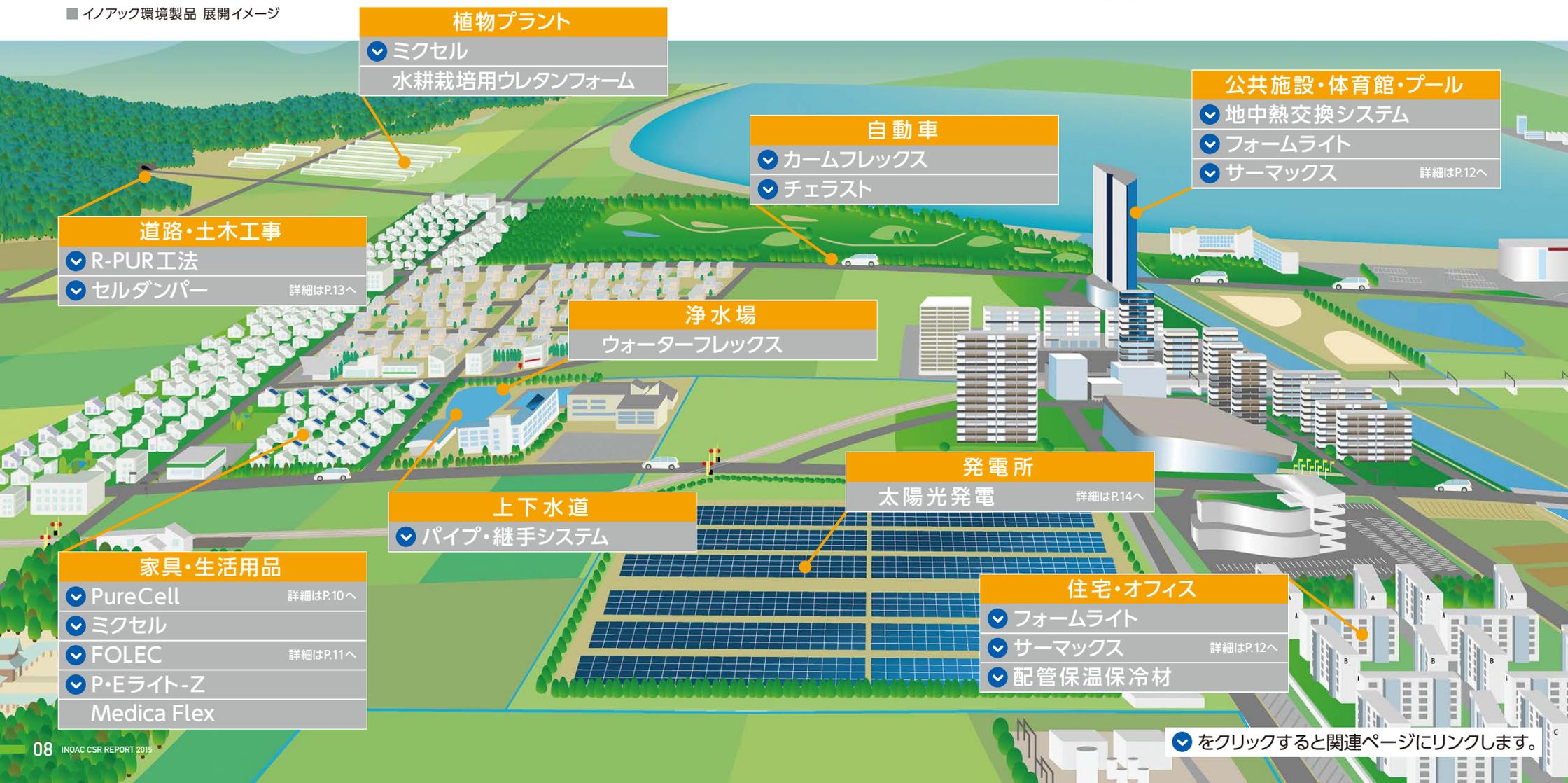
イノアックにおける環境事業の定義とは「環境にいいことを付加価値として持つ事業全般」です。

暮らしをクリーン・安全・健康・快適にする性能に加え、

限りある資源を有効活用し、

地球環境保全に貢献するエコをプラスした製品・サービスもご提供しています。

■ イノアック環境製品 展開イメージ



### 植物プラント

- ▼ ミクセル  
水耕栽培用ウレタンフォーム

### 自動車

- ▼ カームフレックス
- ▼ チェラスト

### 公共施設・体育館・プール

- ▼ 地中熱交換システム
- ▼ フォームライト
- ▼ サーマックス 詳細はP.12へ

### 道路・土木工事

- ▼ R-PUR工法
- ▼ セルダンパー 詳細はP.13へ

### 浄水場

ウォーターフレックス

### 発電所

太陽光発電 詳細はP.14へ

### 上下水道

- ▼ パイプ・継手システム

### 家具・生活用品

- ▼ PureCell 詳細はP.10へ
- ▼ ミクセル
- ▼ FOLEC 詳細はP.11へ
- ▼ P・Eライト-Z  
Medica Flex

### 住宅・オフィス

- ▼ フォームライト
- ▼ サーマックス 詳細はP.12へ
- ▼ 配管保温保冷材

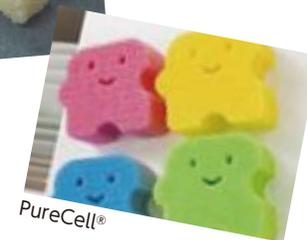
▼ をクリックすると関連ページにリンクします。

# 環境事業部がめざすビジョン

環境に良い製品・技術で社会に貢献します。



ウォーターフレックス



PureCell®

## Q イノアックの環境事業とは？

A 一般的に環境ビジネスとは、「環境に良いこと」を付加価値とした事業全般と定義付けされています。そこで、イノアックが進めている環境事業は、大きな区分として、以下の7つの項目に分類して事業展開を行っています。①「クリーン素材」の提供 ②「ミクセル事業」の展開(リサイクル事業展開) ③「水環境ビジネス」 ④農業・緑化事業 ⑤再生エネルギー事業 ⑥省エネルギー ⑦コンフォート(防音・防振・吸音素材、製品)  
現在は、上記に掲げた事業・製品展開を各事業部にて進めています。

## Q 今後の展望は？

A 東北(小牛田)にイノアック製品を活用した省エネモデル住宅の建設を行います。完成は2015年の12月を目指し、断熱材ではサーマックス、空調関連では地中熱利用システムを採用したモデル住宅となる予定です。  
また住宅だけでなく、省エネモデル工場建設も進める予定です。省エネモデル工場は、消費エネルギー、再生エネルギーの活用、廃棄物のゼロ化、作業環境向上等を指針と設定しています。  
これらイノアックの環境事業の推進役として、環境事業部の果たす役割は大きいと考えています。また、環境事業部の取扱い製品群(環境製品)の拡大も合わせて実施していきます。自動車関連事業、高機能材料事業に続く第3の柱として事業展開を図ります。



ミクセル



サーマックス

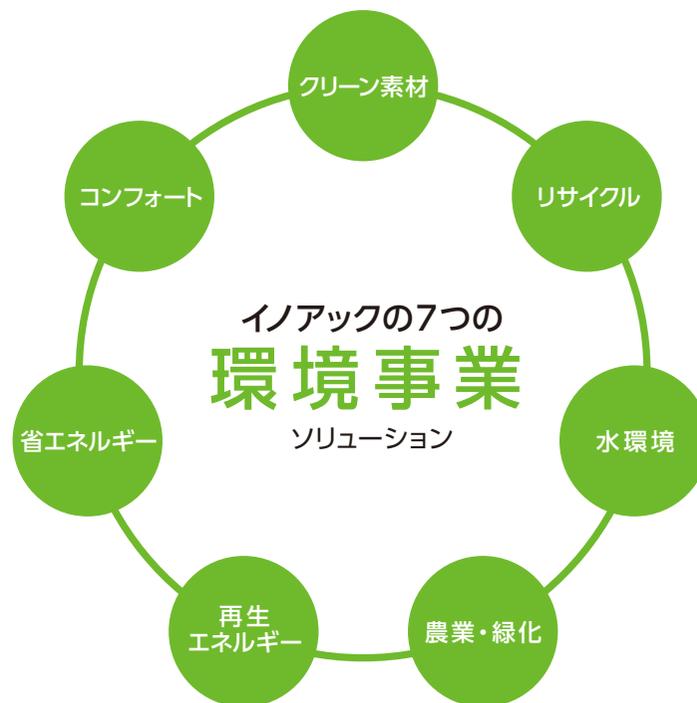
## Q 環境事業部の役割とは？

A 現在、環境事業部は開発・技術・製造・企画の機能を東北(小牛田工場)に設置し、建築用断熱材の開発・製造を特に力を入れて行っています。今年、小牛田工場に建材R&Dセンターを設置し、試験・評価設備を充実させましたので、今後は開発スピードのアップを図ります。また、イノアックの環境事業の推進母体として、省エネ製品の企画・開発、防音・吸音・防振等機能製品の開発も行っていく予定です。



小牛田工場

環境事業部は、まだ取扱い製品が少なく、取扱い製品群の拡大を図る必要があります。「熱・音・光」をキーワードにした製品開発を重点化し、環境製品群の拡大を実施していきます。さらに、イノアックグループ全体で「省エネ活動」等を行っていますので、それらで採用された事例をもとに、製品開発を行うことも検討しています。



環境事業統括役員  
松田 行司



クリーン

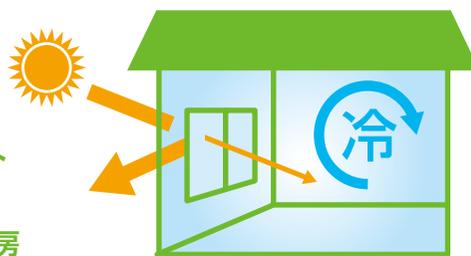
低VOCで、遮熱・遮光効果のあるシート  
PureCell「セルシェード」

関連情報はWEBへ

PureCell「セルシェード」は、低VOCで環境に優しい発泡素材PureCell（ピュアセル）を使用した遮熱・遮光シートです。PureCellは耐熱性、耐光性に優れ、また自己粘着性と衝撃吸収性を合わせ持ちます。この特性を活かした「セルシェード」は、表面にPETフィルムをラミネートすることで更に表面強度を高め、窓ガラスへの貼付により外気からの遮熱や遮光を発揮し、室内の温度管理（断熱）に効果があります。



- ◎紫外線カット
- ◎日光の遮熱
- ◎効率的な冷房

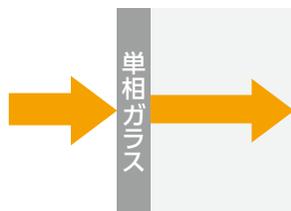


- ◎断熱効果
- ◎効率的な暖房



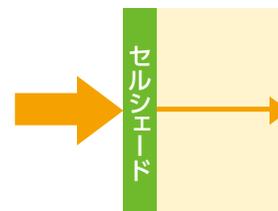
遮熱・遮光効果

■ 単相ガラス (3mmフロートガラス)



日射透過率  
88.0%<sup>※1</sup>

■ セルシェード



日射透過率  
15.5%<sup>※2</sup>

※1 マットPETサポート品 (AS-200PM 1.0mm) ※2 3mmフロートガラスに貼りあわせ測定値

省エネ効果

■ 単相ガラス (3mmフロートガラス)



1ヶ月の電気料金<sup>※</sup>  
¥1,141

■ セルシェード



1ヶ月の電気料金<sup>※</sup>  
約半額!  
¥551

※電気料金算出条件/ガラスサイズ(2.0×1.8m)、屋内外の温度差15℃、1日の暖房使用時間8時間、1ヶ月の暖房使用日数20日、1kWhの電気代単価¥22/kWhの条件で算出した場合。





クリーン

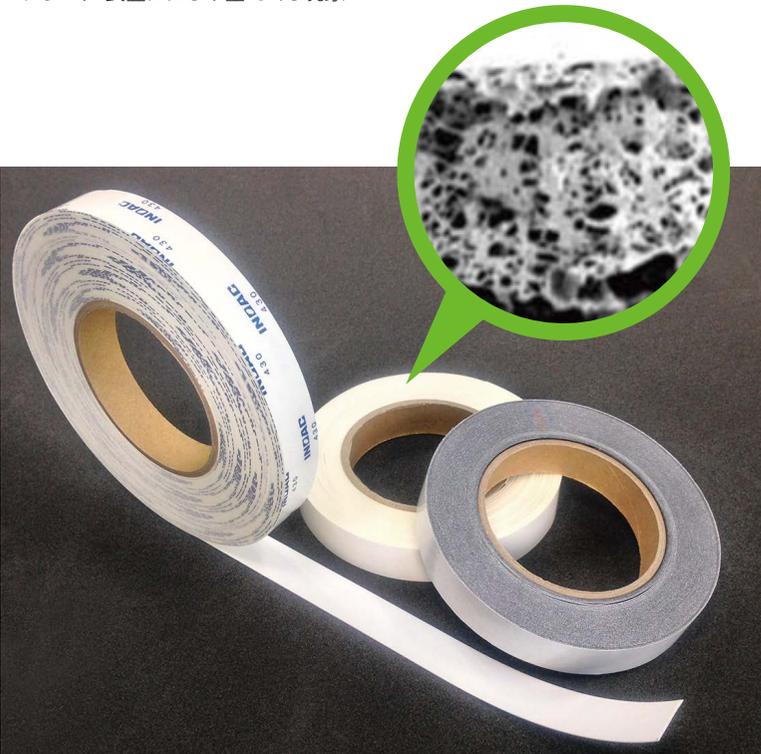
化学発泡剤不使用で環境にやさしい  
**FOLEC 両面テープ**

関連情報はWEBへ

FOLECは、化学発泡剤を使用せず、独自発泡技術により製造した微細セルのクリーンな長尺ポリオレフィン発泡シートです。それを基材に使用したFOLEC両面テープは、高い防塵・防水性があり、また衝撃吸収性にも優れています。

さらに環境に良いポイントとして、化学発泡剤を使用していないため、化学物質の使用削減につながるほか、長期に使用しても化学物質がブリード※してくることはありません。

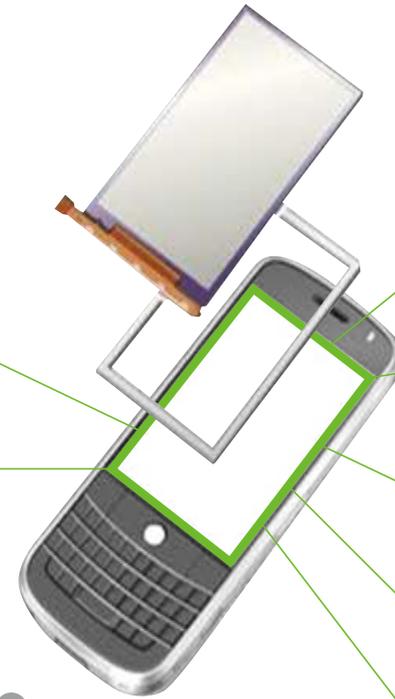
※ブリード 表面ににじみ出てくる現象



特徴

微細セルによる  
IPX8相当の防水性

耐剥離強度



低VOC、無臭

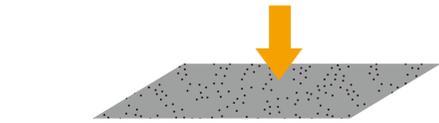
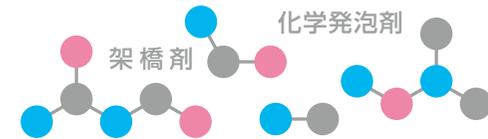
耐衝撃性

FDA 3種適合  
(細胞毒性試験、  
皮内反応試験)

厚み 0.1mm

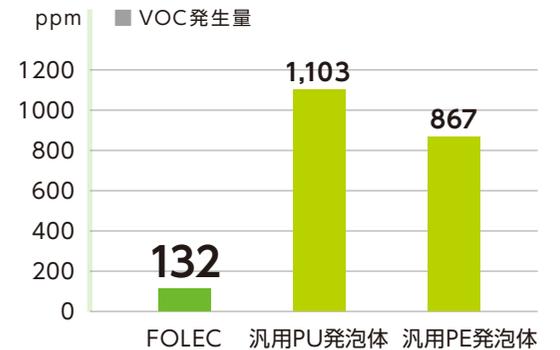
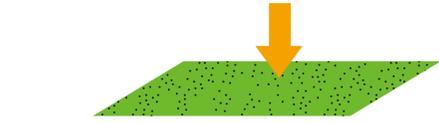
食品衛生法適合

■ 通常製品



■ FOLEC 両面テープ基材

化学物質の使用 **0!**





軽量で防湿性も備えた断熱材  
**サーマックス**

関連情報はWEBへ

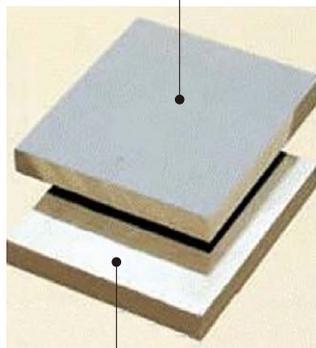
サーマックスは建築用断熱材、設備遮熱材など広く断熱・遮熱材として使われるイソシアヌレートフォーム\*です。熱伝導率0.020W/mkと高い断熱性、アルミ箔面材による遮熱性、120℃まで対応の耐熱性と燃焼時炭化する難燃性が特徴です。

また、厚み20mmで1kg/m<sup>3</sup>の軽量性、独立気泡とアルミ箔により防湿性、ノンホルムアルデヒドといった安全性にも優れています。

サーマックスは国土交通省の不燃材料の認定を取得、製造工場がある宮城県工業会からは「みやぎ優れMONO認定」を受け信頼を得ています。

\*イソシアヌレートフォームはウレタン結合に加え、イソシアヌレート結合を持つ複合体の分子構造フォームです。

表面材…白塗装エンボスアルミ箔(80μ)



裏面材…アルミ箔(22μ)

優れた断熱性能

品名	密度 (kg/m <sup>3</sup> )	熱伝導率 (W/mK)	厚さ (mm)
<b>サーマックスII</b>	<b>32</b>	<b>0.020</b>	<b>20</b>
硬質ウレタンボード	30	0.024	25
押出ポリスチレンフォーム*1	30	0.040	40
ロックウールフェルト*2	45	0.049	50
グラスウール*3	10	0.052	55

\*1 押出ポリスチレンフォーム：JISA 9511 1種 \*2 ロックウールフェルト：JISA 9504 \*3 グラスウール：JISA 9521

震災復興にも貢献

東北の震災で多くの天井が崩れ落ちた事故があったため、国土交通省の改修告知がされた特定天井\*に対応できる、軽量で防湿性と断熱性を備えた天井材として、体育館やプール、食品工場や漁港市場の天井に使用されています。

\*特定天井…吊天井構造で6m超の高さ、広さが200m超、天井材2kg以上の体育館などの人が出入りする場所の天井



↓ **サーマックスで復旧**



- 軽量
- 防湿性
- 断熱性



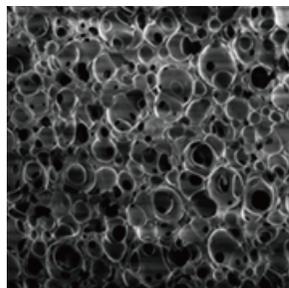
防振マット  
セルダンパー

関連情報はWEBへ

セルダンパーは、振動の低減を目的に防振材として開発された発泡ウレタンエラストマーです。優れた防振性能とシリコンや硫黄を含まない製造工程は、低環境負荷のクリーンな製品を提供します。

その中でも特に環境に配慮した製品として、セルダンパー防振マットがあります。大規模な工事の場合、様々な振動が長期間続き、近隣住民に迷惑をかける可能性が高いことから、建設現場では建設機械の改善や騒音の低減、振動発生源の対策など、迷惑な振動を可能な限り抑制しなければなりません。そこで、セルダンパー防振マットは工事現場の敷き鉄板の下に施設するだけで防振効果があり、重機の走行振動を10dB抑制することができます。

その他の環境用途としては、ビルの軽重量衝撃音対策用の湿式浮床防振材としての使用やヘリポートの防振材、屋上ウッドデッキの防振材等の建築防振材や、振動が発生する機械の防振材や自動車分野などのニーズに対応しています。



特徴

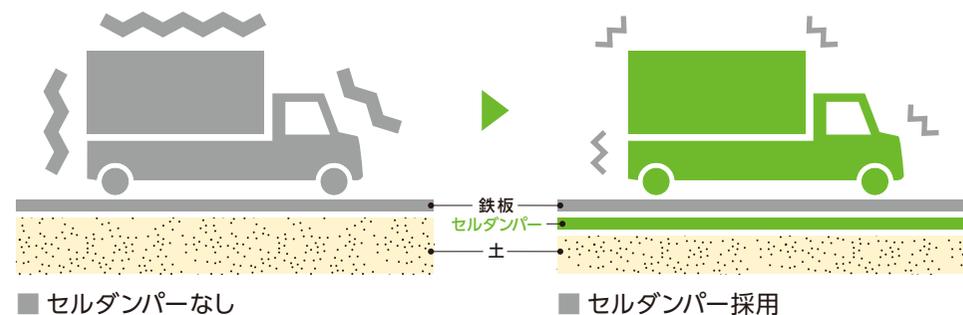
- ① 優れたダンピング効果により振動を低減
- ② 圧縮永久歪が小さく、長寿命
- ③ シリコン、硫黄を含まないクリーン素材
- ④ ゴム臭がなく、臭いの気になる場所でも使用可
- ⑤ 各種分野の難燃規格をクリア

工事用重機の防振・防音に採用

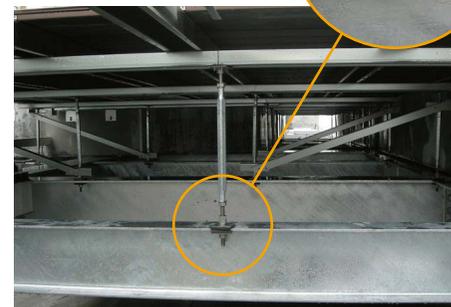


セルダンパー

走行振動  
10dB抑制



屋上ウッドデッキの防振に採用



医療機器(MRIなど)の防振に採用



イノアックでは環境にやさしい製品づくりに加えて、環境にやさしい生産活動にも取り組んでいます。

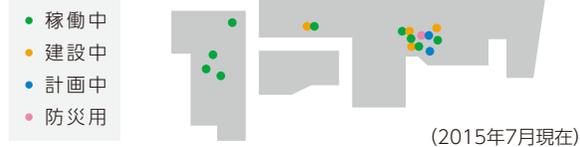
## ○ 太陽光発電

工場敷地内の遊休地に太陽光発電を設置しています。現在全国に18拠点設置し、資産の有効活用とともに地球環境の保全に貢献しています。

■ 太陽光発電事業拠点



九州事業所 有明工場



■ 太陽光発電パネル容量

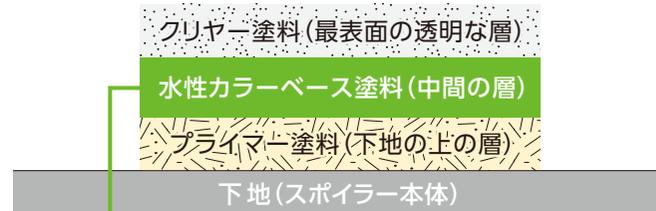
稼働中 (13ヶ所) ..... 3,749kw  
 計画 (7ヶ所) ..... 1,364kw

合計 **5,113kw**

## ○ 水性塗装ライン

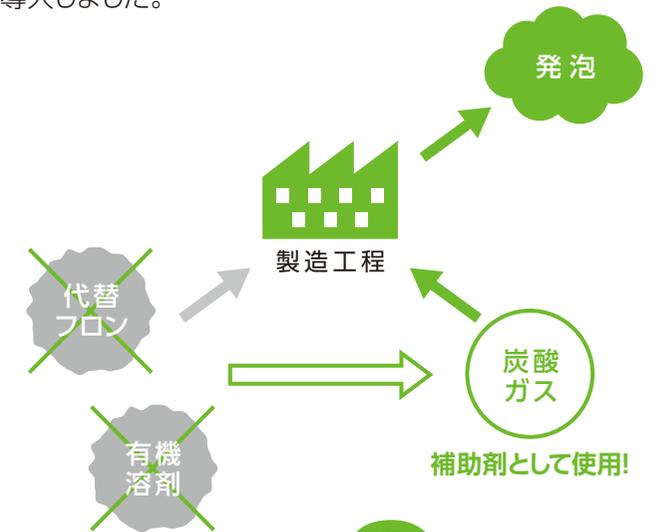
桜井事業所の新塗装ラインでは、カラーベース※において従来の有機溶剤系塗料を使用せず、有機溶剤のかわりに水を媒体とした水性塗料を使用しています。有機溶剤は地球温暖化の原因の一つであり、イノアックは、水性塗料使用により大気中へのVOC (揮発性有機化合物) 排出量を低減でき、環境にやさしい材料の活用を積極的に取り組んでおります。自動車ボディーでは現在、主流の塗料となっていますが、スポイラーのような大物自動車樹脂部品ではイノアックが初の試みを実施しました。

※様々なカラー発色の中間の層



## ○ YES 発泡システム

環境保護のために、環境・高収益・リードタイムに優れた21世紀対応型の工場として八名工場を建設しました。この工場では、「YES (八名エコロジーシステム: Yana Ecology System) 発泡システムを導入しています。通常、ウレタンの発泡工程で使用される有機系溶剤や代替フロンは、地球温暖化の原因となる物質です。これらの代わりに液体炭酸ガスを補助発泡剤として使用する発泡がYES発泡システムです。海外ではすでに量産システムとして稼働していましたが、日本では初めてイノアックが導入しました。



温暖化の原因となる物質の排出 **ゼロ** に!

## 環境理念

イノアックは、環境と調和するテクノロジーと、環境を大切にせる企業活動を通じて、かけがえのない地球の自然環境を尊重し、豊かな暮らしやすい社会の実現に貢献します。

## 環境方針

- ① 環境関連の法規制及びその他要求事項を順守し、社会に信頼される事業活動をおこないます。
- ② 地球温暖化防止のため省エネルギーなどのCO<sub>2</sub>排出の低減活動を推進します。
- ③ 循環型社会に貢献できるよう省資源・廃棄物削減・リサイクルの活動に積極的に取り組みます。
- ④ 環境影響の可能性のある化学物質を適切に管理し、リスクを抑えて環境保全を図ります。
- ⑤ 環境マネジメントシステムを推進し、従業員の環境教育や環境監査を実施し継続的な改善を進めます。
- ⑥ 良き企業市民として、地域の環境保全活動を通じて、持続可能な社会の構築に貢献します。

2015年1月5日  
株式会社イノアック コーポレーション  
代表取締役 翁 豊彦



## 環境マネジメント体制

環境活動を組織的に推進するため、トップマネジメント直轄で環境管理責任者が環境に関する統括管理を行い、環境委員会の委員会活動で会社全体での環境活動を行っています。産業廃棄物と省エネルギーについては専属部会を設置し、より一層の低減推進をはかるとともに、各部会で連携をとり環境マネジメントを推進しています。

■ 環境保全推進体制



## 環境内部監査

環境マネジメントシステム運用状況をチェックするため、内部環境監査を実施しています。監査チームは社内で規定された監査員研修を修了した2~3名でチームを編成し、環境マネジメントシステムの適切な運用、維持・向上がはかられているかを確認しています。また、運用状況が不適切な組織に対しては、追加監査を実施し適切な活動になるよう是正を行っています。

## 外部環境審査

イノアックの環境マネジメントシステムの運用がISO14001(2004年版)に従って適切に行われているか確認するため、社外の審査登録機関である一般財団法人日本品質保証機構(JQA)に審査を依頼しています。2014年度は九州事業所の審査統合を実施しました。その結果、1件のカテゴリ-B(軽微)の改善指摘事項が発見されましたが、直ちに是正処置を行い受領されました。また総合所見として「順守評価の仕組みを機能させるためにシステムの見直しが必要」「内部監査においてサイト間を横断した形で実施することが望ましい」などが挙げられました。

## 2014年度 主要活動総括

イノアックにおける2014年度の主な環境取り組み結果は、下記表の通りです。エネルギー使用量については、ボイラー燃料ガス化や施設集約等の活動により前年比で使用量の6%減を達成しましたが、原単位（動力費／生産金額）での高い目標に対しては原油高騰による動力費の上昇や消費増税後の生産減の影響もあり未達となりました。廃棄物処理量については、再生使用や燃料化、分別回収などの活動により前年比で処理量の3%減を達成しましたが、原単位（処理量／生産金額）での高い目標に対しては消費増税後の生産減の影響もあり未達となりました。

取り組み項目	2014年度活動方針・目標		2014年度活動実績	結果
エネルギー使用量削減	工場系サイト	原単位(動力費/生産金額) 2.69以下 [使用量(原油換算値) 27,262kL(2013年度実績)]	原単位 3.02 [使用量(原油換算値) 25,523kL(2014年度実績)]	△
	事務所系サイト	使用量(原油換算値) 96.9kL以下	使用量(原油換算値) 92.7kL	○
廃棄物削減	工場系サイト	原単位(処理量/生産金額) 4.33以下 [処理量 3,258t(2013年度実績)]	原単位 4.95 [処理量 3,148t(2014年度実績)]	△
	事務所系サイト	処理量 1,577kg以下	処理量 1,533kg	○
環境改善活動	環境改善件数(全社トータル)633件以上		937件	○
よりよい環境製品の開発と拡販	技術開発部門による軽量化製品の開発、 営業部門による環境配慮製品の拡販 (各部門で目標値設定)		テーマ開発・拡販実施	○
環境コミュニケーション	社会環境報告書の発行		発行	○

※主要活動総括の集計対象事業所は次の通りです。

(株)イノアックコーポレーション	安城事業所、桜井事業所、南濃事業所、八名事業所、本社(名古屋)、 東京支店、大阪支店、池田工場、池田第二工場、大野工場、神野工場
(株)イノアック住環境	南濃事業所、大野工場

## 環境法規制の順守

イノアックでは、事業活動に関連する環境法規制を特定し、日常管理を行っています。各事業所において、環境マネジメントシステムの一環として、騒音や産業廃棄物処理など法に基づく適切な対応が出来ているか、監視・測定及びその評価で、環境汚染の未然防止など環境リスク管理を行っています。今後も引き続き企業倫理にのっとり、環境法令の順守の徹底はもとより自治体との環境保全協定等についても、厳正に順守をしていきます。

■ 当社の事業活動における主な環境関連法規

- 大 気** 大気汚染防止法、自動車NOx・PM法、ダイオキシン類対策特別措置法
- 水 質・土 壌** 水質汚濁防止法、浄化槽法、下水道法、土壌汚染対策法
- 騒音・振動・悪臭** 騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法
- 化 学 物 質** 化学物質排出把握管理促進法、毒物及び劇物取締法
- 省資源・循環** 省エネ法、容器包装リサイクル法、フロン回収・破壊法、PCB処理特別措置法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 防 災** 消防法、高圧ガス保安法
- 一般・その他** 工場立地法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律(公害防止組織法)、電波法

※地方公共団体の条例等については割愛 ※一部略称法にて表記

## 緊急事態の訓練

各事業所の特性に応じた事故・緊急事態の特定を行い、火災や設備などによる化学物質(油類・溶剤等)の漏洩など環境汚染の予防及び拡大防止のため、定期的な訓練を実施しています。安城事業所では、2014年5月20日、11月28日に全体防災訓練を、それ以外に原料流出防止訓練や夜間避難訓練など、部門毎の特質に即した個別の訓練を実施しています。その他の事業所においてもそれぞれ非常時の訓練をおこない、有事に備えています。



安城事業所/けが人の救護訓練



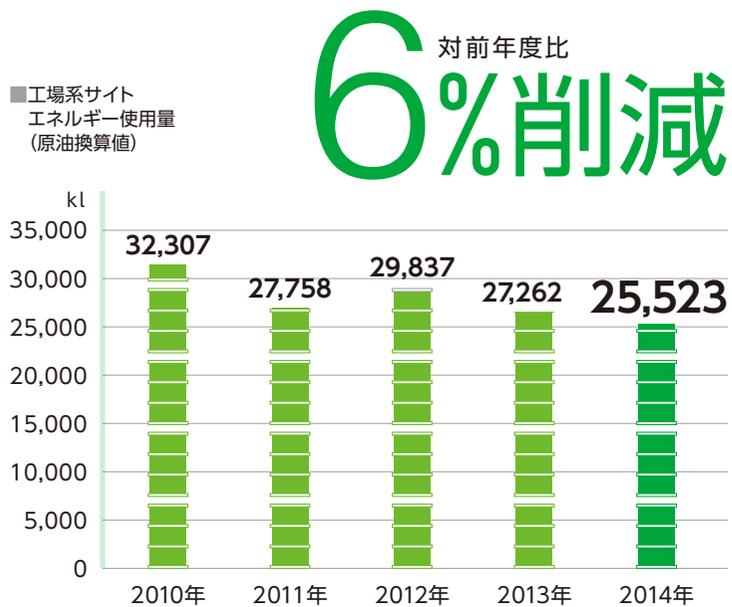
大野工場/オイルフェンスの設置



桜井事業所/消防隊による放水訓練

## エネルギー使用量削減

イノアックは、従来から地球温暖化防止のため、CO<sub>2</sub>排出量の削減や省エネを推進してきました。具体的な活動としては、2013年と同様に6月～9月の夏期省エネ目標及び12月～翌年2月を冬季省エネ目標として特別設定して取り組みました。また外部専門機関による省エネ診断を受診して効果的なエネルギー使用量の削減を図り、またボイラーの燃料ガス化、分散化、ドレン回収を積極的に進め、その他事務所・施設の集約による省エネも推進しました。その結果2012年比で14%、2013年比では6%の使用量の削減を達成しました。



※2014年度の報告書発行後に一部の事業所よりデータの訂正が入り、2013年度の数値について、報告書に掲載された数値と異なります。

[取り組み事例]

### 2014年 省エネ推進 重点実施内容

電力ピーク管理

ボイラーの燃料ガス化・分散化・ドレン回収

事務所、施設の集約による省エネ

外部機関による省エネ診断の積極的受診

### ボイラーの燃料ガス化、分散化、ドレン回収

老朽化した蒸気ボイラーを効率の良いガス焚ボイラーへ更新、また設置場所を分散して、できるだけ負荷設備の近くから蒸気を供給することでロスを削減しました。またドレン回収も積極的に行っています。



安城工場 / 第2ボイラー



安城工場 / ドレン回収装置



池田工場 / 西ボイラー



池田工場 / LPGタンク

### サマーエコスタイルキャンペーン

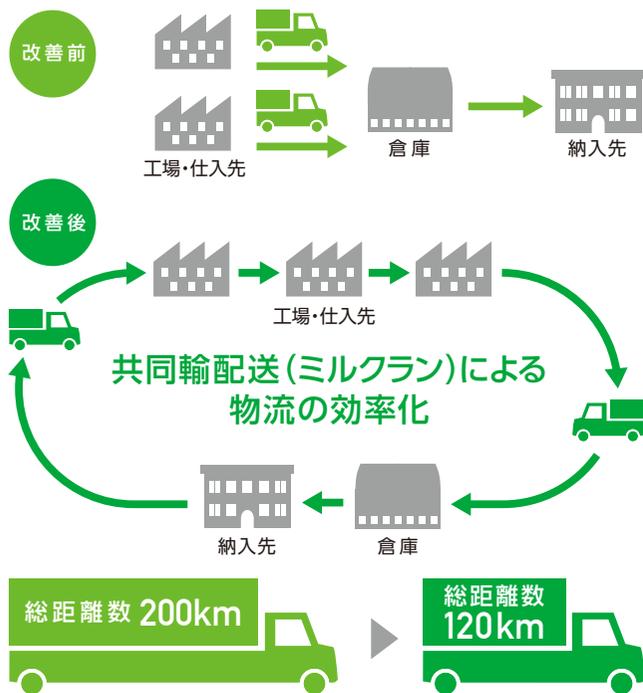
イノアックでは節電対策、地球温暖化防止策の一環として、サマーエコスタイルキャンペーンと題してキャンペーンを実施し、従業員の省エネ活動の啓蒙を働きかけています。



## グリーン物流へのアプローチ

グリーン物流へのアプローチとして、共同輸配送(ミルクラン)、鉄道・海運へのモーダルシフト、物流拠点集約など物流改善活動を行ない、エネルギー使用の合理化及びCO<sub>2</sub>排出量の低減など物流からも環境改善に取り組んでいます。

■ 共同輸配送(ミルクラン)による物流の効率化



## 廃棄物削減活動

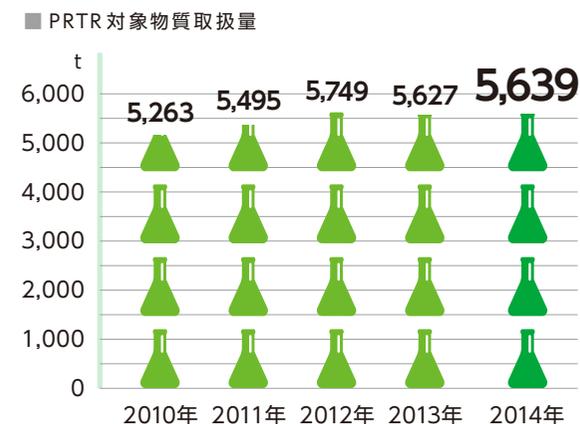
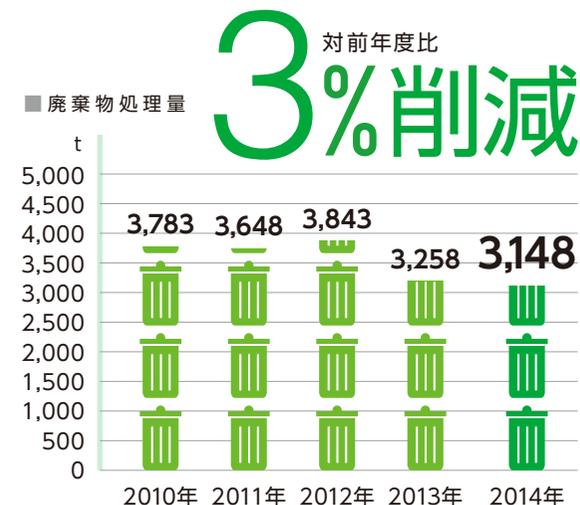
廃棄物削減活動については、全社廃棄物削減会議を中心に、廃棄物削減事例の報告及び横展開と、廃棄物の発生源対策として、再生材料インライン使用や、梱包用品など副資材の変更・削減、貨物の流通に使用した木パレット等の返却の徹底、分別によるリサイクル資源としての活用の拡大や、排出カスを乾燥・粉砕処理することによる燃料としての使用などにより処理量の削減を実現しています。2014年は、2012年比で約18%、2013年比では約3%の減少を達成しています。

※2014年度の報告書発行後に一部の事業所よりデータの訂正が入り、2013年度の数値について、報告書に掲載された数値と異なります。

## 環境負荷物質低減活動

イノアックではウレタンフォームの原料であるm-トリレンジイソシアネートや塗装工程におけるキシレンやトルエンなど「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」で定められたPRTR対象化学物質を使用しています。それらの対象化学物質は、非含有タイプへの切り替えや収率改善による使用原料のロスを減らし、削減を行っています。対象物質の取扱量は減少傾向にあり、2014年は2013年度と比べると若干増加したものの、2012年比では約2%減少しています。

※2008年の法施行令改正により、第一種指定化学物質354物質から462物質に変更されました。それに伴う使用材料のSDS更新を進めていたが、集計値が新対象物質まで含んだ値に完全に切り替わったことを受け、今年度より新基準データに更新したため、2014年度の報告書に掲載した数値と異なります。



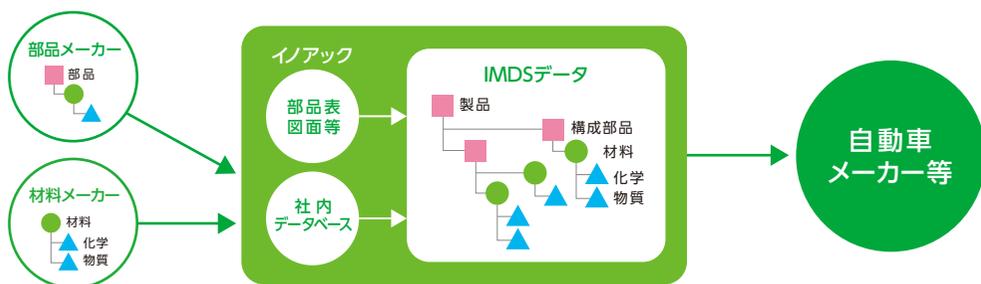
※P17・18の環境データに関する集計対象事業所

©(株)イノアックコーポレーション/安城事業所、桜井事業所、南濃事業所、八名事業所、本社(名古屋)、東京支店、大阪支店、池田工場、池田第2工場、大野工場、神野工場 ©(株)イノアック住環境/南濃工場、大野工場

## IMDSの利用促進

イノアックは、ウレタン、ゴム、樹脂の3素材を利用した成形品製造メーカーとして、とくに主力となる自動車部品分野ではIMDS<sup>\*1</sup>を利用した化学物質情報の登録および顧客への報告を行っています。2003年2月にIMDSを導入して以来、サプライチェーンを通して必要情報を収集しIMDS登録を行う管理体制を整えています。IMDSの有効利用、信頼性の確保、効率化のために、各製造部門の生産技術の管理者および担当者を対象に環境管理部門主催による月1回の社内ワーキンググループ活動を継続的に実施し、情報や課題を共有化し問題解決に努めています。

■ イノアックにおけるIMDSの情報収集～報告の流れ、化学物質管理の仕組み



※1 IMDS (International Material Data System) : 欧州ELV指令への対応に端を発して開発された自動車業界における材料・化学物質情報を伝達・収集するインターネットを利用したデータベースシステム。

※2 REACH (Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals) : EUで2007年6月1日に施行された化学物質管理に関する法規で、成形品に対しても含有する高懸念物質情報の伝達等の義務が課せられるなど幅広い管理・対応が求められる。

## 社内データベースの構築

サプライチェーンへの調査を基に収集した、購入部品や原材料に含まれる化学物質の情報を一元管理する社内データベースを開発し2007年末より自動車部門にて運用しています。

IMDSへの登録や環境負荷物質の含有調査の際に、必要となる各種情報を素早く取り出すことや重複調査を回避することができるため作業の効率化が実現され、さらには報告内容の精度向上にも貢献しています。

## 欧州REACH規制への対応

イノアックは、自動車部品を主とする成形品以外に、ウレタン、ゴム等の素材も各種産業用部品として生産しており、各素材の原料まで含めた多岐にわたる調達品の化学物質情報の把握が必要となります。そのため環境管理部門がREACH<sup>\*2</sup>規制等の環境関連法規に関する最新情報を都度社内関係者へ配信し、最新の高懸念物質の情報等を的確に把握・共有するとともに、購入原材料に含有する化学物質の情報収集を行っています。

## グリーン調達基準の制定・運用

各種法規や顧客等により規制される化学物質や、含有量を把握して削減に努めるべき化学物質などをリスト化してグリーン調達基準として調達先に提示し、購入する原材料に含有する化学物質情報の把握に利用しています。またREACH規制等の最新法規への対応も考慮した見直しを行いながら運用しています。

## 社内教育体制

企業における環境活動を高めるため、環境教育を実施しています。

■ イノアック教育体系(環境関係分)

集合研修	一般教育	法律関係	環境負荷物質の基本
		ISO関係	ISO14001規格解釈コース ISO14001内部監査員育成コース
	専門教育	法務関係	廃棄物処理法と排出事業者の責務
部門研修 (ISO14001に沿ったもの)		環境方針の周知 著しい環境側面に応じた教育	

## 事業所周辺の清掃活動

各事業所では事業所周辺の清掃活動を実施しています。



大野工場

南濃事業所



安城事業所

八名事業所

## エコキャップキャンペーン

桜井事業所では、NPO法人エコキャップ推進協会が推進するエコキャップ運動に参加しており、ペットボトルのキャップを回収し、世界のこどもへのワクチン提供に貢献しています。



エコキャップ回収ボックス



キャンペーンポスター  
(出典:エコキャップ推進協議会)

## ライトダウンジャパン2014

イノアックは、地球温暖化防止策として環境省が推進している「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン」に毎年参加しています。2014年度は夏至(6/21)と七夕の日(7/7)にグループ会社を含めた10事業場で実施しました。



本社(名古屋)ネオンサイン



安城事業所正門看板



桜井事業所西側看板



桜井事業所正面看板

## グローバル体制を活かしたお客様ニーズへの対応

高度化・複雑化するお客様のニーズに対応すべく、イノアックでは世界各地に生産・販売の拠点を設置し、グローバルな支援体制を確立してきました。

今後もグローバルネットワークを活用した情報収集、技術交流を積極的に推進していくなかで、各国のお客様のニーズに沿った商品を提案し、課題解決に取り組んでまいります。

## お客様からの評価・受賞

イノアックでは、世界のお客様にご満足いただける地球環境に配慮した製品の供給を目指しています。

国内においては、コスト協力と新製法・新材料の積極的な開発を評価されての受賞や、海外の拠点においても品質優秀賞を受賞するなど、世界のお客様より評価をいただいています。

今後ともQuality (品質)・Cost (コスト)・Delivery (デリバリー)・Safety (安全性)で、お客様より高い評価を得られるように体制の強化に継続して取り組みます。

### [2014年度の主な受賞]



富士ゼロックス株式会社様より  
「2014年度  
プレミアパートナー」に認定



株式会社沖データ様より  
「二十周年記念  
最優秀ビジネスパートナー」として表彰



株式会社ケーヒン様より  
「優秀感謝賞  
2015年品質部門」を受賞

## 品質革新プロジェクト

イノアックでは品質向上を実現するために、従来のQC活動以外に「品質革新プロジェクト活動」に取り組んでいます。すでに実行されている品質レベルを日常的、持続的に改善する活動に加えて、各事業所で根本的に重要な品質属性(製品の歩留まり等)を取りあげて、その圧倒的レベルアップを図るべく、事業所内の事業責任者、品質保証、製造、技術スタッフに本社グローバル品質も加わり全社的視点からの検討を図っています。

### [取り組み事例]

#### 統計的品質管理教育

イノアック全社員を対象とし、問題解決・品質改善活動の一番基本となる品質管理の知識教育を進めています。この教育は検定・推定から配置実験・回帰分析などの統計的手法を中心に、日本品質管理学会認定の品質管理検定2級レベル教育です。



#### 品質総点検

国内生産拠点はもちろん、海外に広がる生産拠点に対しても、品質管理のスペシャリストによる4M視点で品質保証レベルの点検・指導を実施し、グローバル品質力の向上に努めています。



#### 工程管理のIT化

各工程で作成している日報を、手書からタブレットPCでの入力へとIT化を進め、工程で発生している不具合を迅速に把握し、適切な処置のスピードアップを図る仕組み作りを進めています。また得られたデータを解析し傾向を把握することで、不具合発生のもたら防止に繋がっています。



## 調達基本方針

### ① グローバル調達活動の推進

イノアック国内外の拠点を活用したグローバルな調達活動と、パートナー関係の強化を図ります。

### ② 法令・社会規範及び社内規程の順守

法令・社会規範及び社内規程を順守し、健全で開かれた調達活動を推進します。

### ③ 公平・公正で誠実な調達活動の推進

お取引先様に対して公平・公正な競争の機会を提供し、誠実な調達活動を推進します。

### ④ 環境・人権に配慮した調達

イノアック環境方針に基づき、地球環境に配慮した調達活動を行います。紛争鉱物(コンフリクト・ミネラル)等、人権・社会問題の原因となりうる原材料の使用については、影響に配慮した調達活動を行います。

### ⑤ お取引先様との相互信頼に基づいたパートナーシップの構築

お取引先様との強固な信頼関係と連携を図り、技術力及び品質の維持・向上に努めます。

## グローバル拠点における最適調達の実施

原材料、部材等の現地調達を通じて事業拠点の所在する国々に貢献し、最適品質・最適価格に加え、長期的な取引を念頭に入れたお取引先様との良好なパートナーシップを目指します。またグローバル生産に対応した、より戦略性の高い購買活動を推進します。

## お取引先様との双方向コミュニケーション強化

お取引先様、約100社からなるイノアック協力を組織し、相互理解を深めるとともに、お互いの企業レベルの向上に努めています。

安定した企業活動を継続するために、社外講師による講演会等を通じて、企業コンプライアンスや機密管理、有害物質管理、リスクマネジメントなどについての啓蒙活動を行ったり、経済情勢や生産動向などの情報の共有化を図っています。



菊池工場での講習会

## グリーン調達活動の推進

イノアックでは、地球環境に配慮した調達活動推進のため、イノアックの製品を構成するすべての部材・材料及び製造時に使用される材料の調達において「イノアックグリーン調達基準」に基づき、含有禁止物質の不使用及び管理物質の管理・削減を継続的に実施しています。

お取引先様には、持続可能な社会の構築に向けて、イノアックグリーン調達へのご理解とご協力をお願いするとともに、RoHSやREACH、ELV指令など近年益々厳しくなっている環境規制に対する確認分析等の取り組みを一体となって進めています。

イノアック・イノベーションサポート

イノアックでは、ささやかながら地域社会への貢献の一助として文化支援活動「イノアック・イノベーションサポート」を永年にわたり続けています。内容はバレエやオペラ公演への協賛など、多岐にわたっています。2014年は東京公演、名古屋公演ともにウィナー・ワルツ・オーケストラ「宮殿祝賀コンサート」をサポートしました。



このような各種イベントへの協賛等により、文化振興に貢献するだけでなく、社会とイノアックの結びつきを一層深めるきっかけとなることと信じています。今後も積極的な支援活動を続けていきます。

公益財団法人イノアック国際教育振興財団

1987年、グローバルに活躍する人材の育成を目的とした「イノアック国際教育振興財団」を設立しました。1950年代から事業のグローバル展開を推進してきたイノアックは、世界に通用する市場価値を持った人材育成の必要性を痛感してきました。



そして財団設立以来、中国、韓国をはじめ様々な国、また日本の学生に奨学金を給付し、海外留学の支援を行ってきました。支援を受けた学生の人数は280名を超えました。こうした人材が将来世界を舞台にはばたくことは、イノアックの大きな喜びです。

地域教育活動

イノアックでは毎年、職場体験や工場見学の受け入れを実施しています。2014年は、安城・桜井・西濃・南濃・八名の各事業所と浮羽工場で中学生の体験学習を、桜井・南濃・八名事業所と浮羽・菊池工場では高校生の受け入れを行いました。この活動は地域教育への貢献活動として、各事業所の地元の学校の要請により実施しています。学生には製造現場で軽作業をしてもらい、製造業の仕事を体験してもらっています。また工場見学も随時開催するなど、地域の教育活動へ積極的に協力しています。

緑のカーテン倶楽部に参加

八名事業所では事務所の省エネ対策として、5年以上前からゴーヤやヒマワリを植えて、緑のカーテンを作ってきました。関係者が大切に育ててきたのですが、4mの高さまできれいに生い茂らせるのは非常に難しく、毎年中途半端な高さで終わっていました。また2011年から八名事業所のある新城市の環境活動である『緑のカーテン倶楽部』に登録し、コンテストにも応募してきました。2014年度は上位入賞をめざし、土づくりから取り組んだ結果、縦4m、横14mの非常に立派な緑のカーテンが完成し、事業所部門の最優秀賞に選ばれました。今後もこのような活動に参加し、地域との交流を深めていきます。



BANGKOK FOAM CO.,LTD.(タイ)の活動

タイのBANGKOK FOAM CO.,LTD.(以下BFC)では、近隣託児施設の屋外遊具が錆びて子供がけがをする危険があるため、メンテナンスを実施。延べ50名近い従業員がサンドペーパーで遊具を磨き、錆を落とした後に、きれいに塗装まで行いました。従業員の中にはゲームやアニメのキャラクターを上手に書く人もいて、子供たちは大変喜んでいました。

またBFCでは、こどもの日(1月第2土曜日)に工場近隣の小学校へ、食べ物や文房具などを寄付しています。この活動は毎年続いており、同じ活動を母の日(8月12日)にも行っています。

近隣の教育施設には従業員の子供も通っているため、今後もこのような活動を継続的にやりたいと思います。



遊具メンテナンスの様子



母の日の寄付活動



蘇州井上高分子新材料有限公司(中国)の活動

蘇州井上高分子新材料有限公司(以下SINP)では、学習支援金の募金を行っています。この学習支援金は経済的理由で学校に行くことが困難な、会社周辺地域の子供たちの援助を目的として行っているもので、文房具や参考書などの購入に役立てていただいています。

今年はSINPの従業員が約3000元を募金し、現地政府より奨励状も頂きました。



現地政府より頂いた奨励状

INOAC GROUP North America, LLCの活動

The Kentucky Federation for Advanced Manufacturing Education(以下KY FAME)は2010年にBluegrass(Lexington/Georgetown)支部からスタートした団体で、高度なものづくり教育のために、地域政府と支援企業および地元の教育機関と連携して、高度製造技術者の教育プログラムATM(Advanced Manufacturing Technician Pathway)を提供しています。

INOAC GROUP North America, LLC(以下IGNA)はその活動に共感し、2014年に近郊地域内の他企業と協議を重ね、新設支部のLincoln Trail支部の立ち上げに参画しました。現在IGNAはKY FAMEの会員であり、Lincoln Trail支部の会長を務めています。2015年の秋には新しいプログラムを開始する予定です。

※The Kentucky Federation for Advanced Manufacturing Education  
ケンタッキー州製造業高等教育連盟

## 両立支援のための制度

従業員が働きやすい環境づくり、女性の活躍推進を目的に、仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組んでいます。育児休業規程では、子が2歳に達するまで育児休業取得を可能とし、子の看護休暇は1人の場合は5日間、2人以上の場合は10日間の特別休暇(有給)を付与しています。また、最長3年間(子が小学3年生までが対象)取得可能な「育児短時間勤務制度」を導入しています。ほかにも、配偶者出産時に取得できる5日間の特別休暇(有給)を設けています。

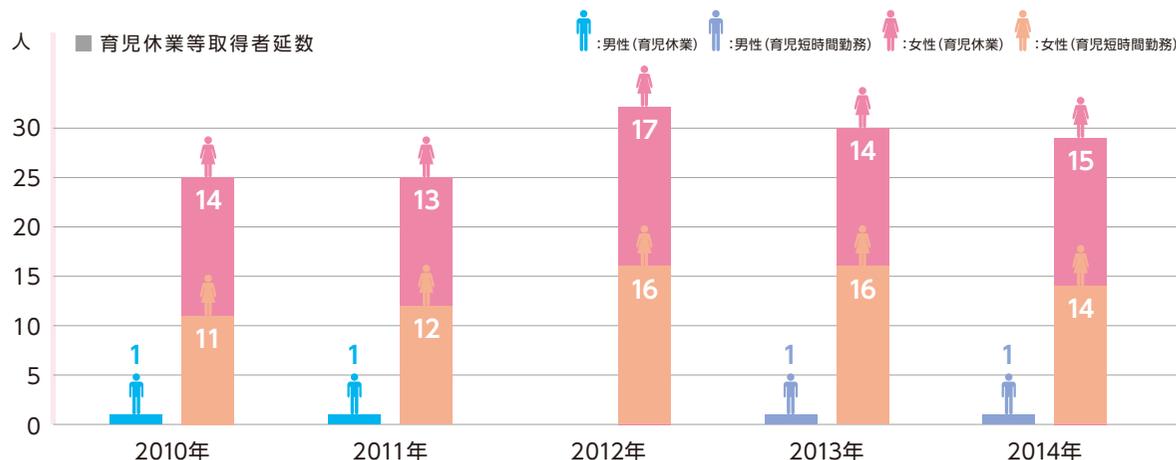
### 両立支援制度一覧(施行年)

- 配偶者出産休暇(1980年以前)
- フレックスタイム制実施(1990年)
- 介護休業規程(1990年)
- ハッピーホリデー休暇(1991年)
- 育児休業規程(1992年)
- 母性健康管理の措置に関する規程(1998年)
- 半日有給休暇取得制度(2000年)
- ファミリーサポートホリデー休暇(2005年)
- 子の看護のための休暇(2005年)
- 育児休業規程改訂(休業期間延長)(2005年)
- 育児短時間勤務制度施行(2008年)

### [取り組み事例]

## ポジティブアクションプロジェクト

仕事と家庭の両立支援活動の一つとして、安城工場にて企業参観を開催しました。今回は過去最高の参加者に参加いただき、ウレタンのハンド発泡や工場、実験室を見学しました。液体を混ぜて、もこもことスポンジができる様子や、粉から表皮ができた、「水」の力でカットしたりと初めて見るものばかりで、子供たちは目を輝かせて見ていました。また、お父さん、お母さんの実際の職場を訪れて、毎日どのような仕事をしているか理解してもらうことができたと思います。参加者からは、「本格的な実験器具なども見られて、子供たちには会社というところのすごさが伝わったと思います。」など、たくさんの意見が寄せられました。



### Voice 私も家族も満足の日でした

安全環境管理室 石川裕将さん

ウレタン製品に囲まれた生活をしているのに、妻をはじめ、子供達も発泡を見た事がない。今回、企業参観という良い機会に見せてあげようと思い、参加しました。家族は液体をかき混ぜて数秒で一気に膨らむ様子に驚き、「もっと大きな製品の時はどうやるのだろう。実際のラインも見てみたい」と言っていました。今まで、会社について会話したことがなかったのですが、娘とも楽しく会話ができ、この企画に参加して本当に良かったです。

## 女性社員の登用

イノアックでは、女性社員の能力を引き出して、そのスキルや知識を業務で発揮してもらうために、積極的に女性社員の活用を図るとともに、会社へ貢献できる環境づくりを進めています。女性社員の管理職登用もその一環として挙げられ、現在8名が管理職に就き、各分野において活躍しています。

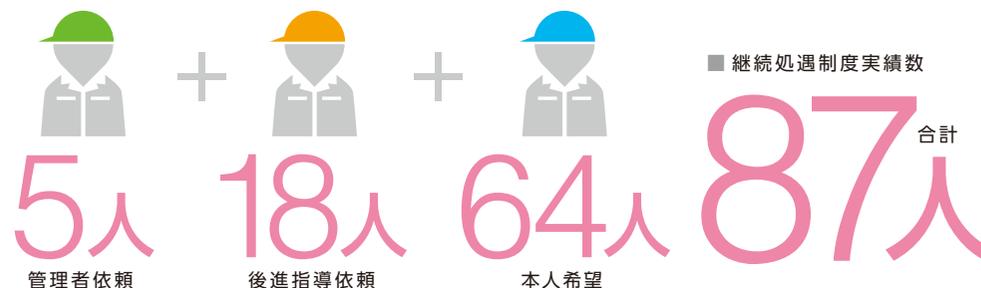
■ 女性管理職昇格者数

2002年~2007年	2008年	2009年	2011年	2012年	2013年	2014年
1	1	2	2	1	1	0

女性管理職昇格者数合計  
**8人**

## 継続処遇制度を新設

2015年1月から継続雇用の賃金形態を増やし、責任者としてやりがいを持てる制度を導入し、積極的に定年退職者のキャリアを有効に活用できる環境づくりに取り組んでいます。



## 障がい者の雇用

すべての人の可能性を広げる社会の実現を目指し、障がい者の方を積極的に雇用しております。障がい者の方を雇用する事により、従業員のまわりに対する気配りが生まれ、意識が向上しました。



## 海外からの受け入れ

イノアックでは、海外現地法人で働いている外国人を日本のマザー工場へ派遣し、技術習得やスキル向上のため『研修生』として受け入れ、人材育成をしています。日本で身につけた知識・経験を海外へ持ち帰って活用することにより、現地化の促進、ノウハウのグローバル伝承に繋がっていきます。

また、海外現地法人から『技能実習生』として受け入れも行っています。日本にて一定期間、特定の生産現場で作業をしてもらうことにより、帰国後の現場改善活動に寄与してもらっています。



社員教育

グローバル人事総務部では、イノアックグループの従業員の能力を高め、成長できる場を与えていくための『社員教育』を企画・実施しています。『教育』を生涯学習の一環と位置付け、従業員の持つ特性や能力を引き出し、あらゆる場で活かせる職場づくりと定義しています。



教育計画を一元化(見える化)した『イノアック教育体系図』を整備することにより、イノアックの従業員は「どの職位でいつ頃どんな教育を受けられるか」を事前に知ることができます。

階層別教育

人間的魅力、社会人としての常識、精神面など心の自立を目指す教育〔人間性教育〕と、将来必要とされる能力育成を目指す教育〔能力アップ教育〕から構成されています。

部門別専門教育

業務に必要な基礎知識や専門知識、技能の習得を目指す教育を行います。ここ2~3年は、この部門別専門教育の充実を図るために、精力的な活動をしています。

- ◎『営業研修』の拡充…初級、中級、上級と3つのレベルで、各々の営業力強化につながる教育。
- ◎『技術研修』の強化…技術者向けのコミュニケーション力、プレゼンテーション力の強化教育。
- ◎『製造力強化研修』…製造(モノづくりそのもの)の基本教育、基礎教育の拡充。

グローバル人材育成

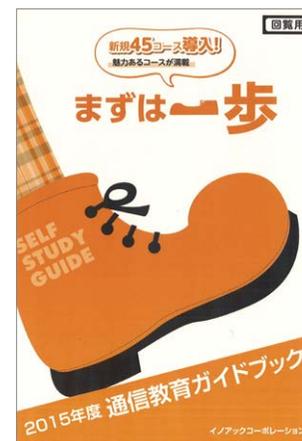
イノアックグループには、海外に50を超える事業所(工場、事業所)があります。今後、ますます進むグローバル化(ボーダレス化)に対応できる人材を育成するために、『グローバル人材育成』にも力を入れています。『グローバルマインドセットセミナー』では従業員のグローバル意識の改革を促し、若い時から『海外研修』に派遣し、海外を体感できるような教育をしています。また海外に赴任する際、駐在先で困惑しないように、先輩の知恵・経験を生かした『赴任前教育』を充実し、海外駐在候補者や駐在予定者を計画的に教育する体制を整えています。

グローバル化には欠かせない外国語の習得のために、現在9クラスの『社内語学教室』を各地で開設し、学習費の補助を行っています。さらに語学の実践的学習のため、海外語学留学(4週間)にも年間10~12名の選抜メンバーが派遣されています。

『語学手当制度』では、TOEICスコア650点以上を獲得すると、申請により毎月手当が支給されます。

自己啓発

従業員の自己啓発学習を補助するために『通信教育制度』もあります。毎年、100を超えるコース(講座)を設定し『通信教育ガイドブック』を従業員に配布します。通信教育受講料は、コース修了時に会社が半額負担(還付)する制度で、毎年70~80名の受講者がいます。グローバル人事総務部としては、受講者数年間100名を超えるよう、啓蒙活動をしています。



## 安全の理念と基本方針

- ① 安全は、企業存立の基盤である。
- ② すべての事故、災害は防止できる。
- ③ 安全は、全員の自覚と責任ある行動で達成できる。

という安全の理念に基づき、安全は全てに優先することを基本方針として、全員参加の安全・衛生・防災活動を推進し、安全に強い人づくり、公害ゼロ・災害ゼロの快適職場づくりに取り組んでいます。

## 全社安全衛生委員会の開催

トップダウンで取り組む安全衛生活動として、

- ◎中央安全衛生委員会 …年4回
- ◎役員による現場点検 …年2回を実施
- ◎安全衛生実務担当者会議 …年6回
- ◎各拠点安全衛生委員会 …毎月

により全社の安全・衛生・防災意識の向上と組織風土づくりを図っています。



## 防災活動

危機管理規定に基づき行動し、自然災害などによる被害を最小限にとどめ、的確な初動対応と早期復旧を図ります。

1. 大規模地震災害
  - ◎建屋・設備・地震減災対策
  - ◎地震発生時減災への備え
  - ◎地震災害発生後の対応
2. 火災・風水害対策
  - ◎生産現場の火災・防爆予防
  - ◎風水害対応体制の確立



## 安全衛生の月間活動

厚生労働省の運動行事や過去の災害に学んだ月度重点実施事項を年間活動計画として定め、教育訓練の繰り返しにより全拠点の安全衛生管理レベルの向上を図っています。

## 健康増進に向けた取り組み

管理監督者が率先垂範するよう、知識とスキルの向上を図っています。

- ◎メンタルヘルス、ハラスメントの相談窓口を設置
- ◎分煙化の徹底として、屋外喫煙室を設置
- ◎産業医、健康保険組合による学習・指導会を開催



## リスクアセスメント活動

災害発生プロセスの理解と論理的な安全衛生管理の推進を図っています。

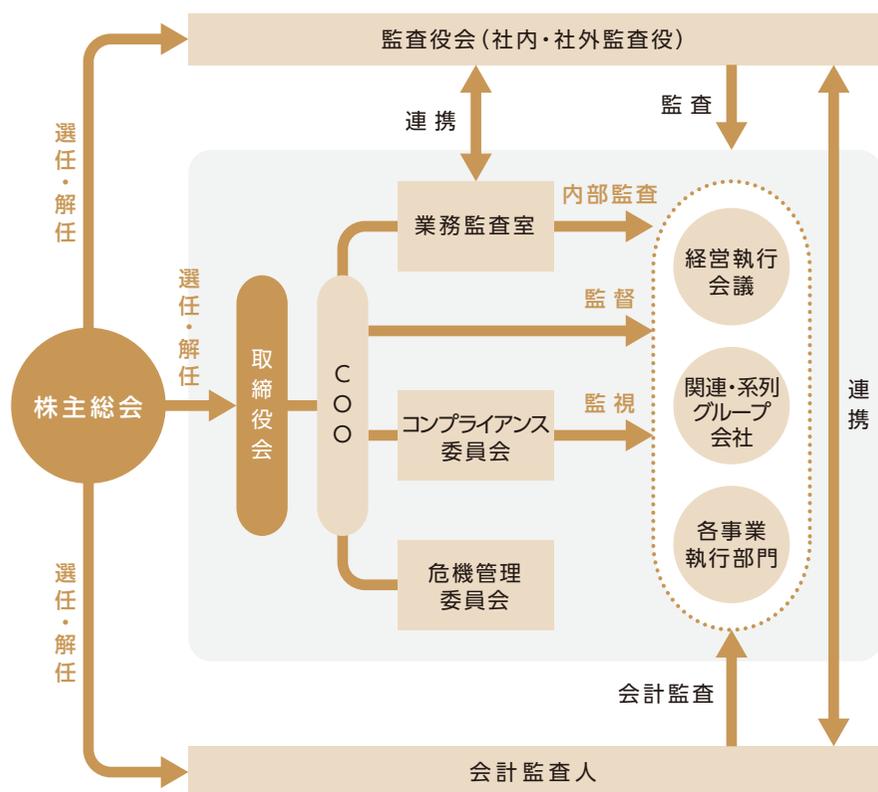
- ◎リスクアセスメントを実施し、危険源への対策と危険源に関わらない作業方法の選択による本質安全化を推進
- ◎化学物質の管理と化学物質を取り扱う人材を育成



## コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方

イノアックは企業業績・企業価値・社会的信用性を高めるために、コーポレートガバナンス強化を重要な経営課題と位置付けています。

■ イノアックのコーポレートガバナンス体系図(組織系統図)



### [コーポレートガバナンス体制]

#### 取締役会

取締役会は5名で構成されており、経営に関する重要な意思決定を行っています。各取締役より職務執行状況、財政状態および経営成績などの報告を受け、業務執行の監視・監督に当たっています。

#### 執行役員制度

経営に関する監督責任と執行責任を分離するため、執行役員制度を導入しています。取締役会より執行権限を移譲された執行役員が、事業部・グループ会社・主要職能組織長として、意思決定の迅速化と業務運営の効率化を図り、重要な業務執行への対応を行っています。

#### 監査役会

監査役会は社外監査役2名を含む3名で構成されています。監査役は、取締役会等社内の重要な諸会議に出席するほか、業務執行状況の聴取を通じて、取締役の職務の執行状況を監査しています。

### [内部統制システム]

職務の執行内容を法令及び定款に適合させるため、さまざまな施策を行っています。

#### コンプライアンス

コンプライアンス委員会活動と、「企業行動規範」の全社員への教育

#### 情報管理

文書管理規程により、文書毎の保管部署・期間を定めた管理

#### 企業集団としての管理体制

関連・系列会社においては、関連会社管理規定を制定。業務運営ルールを明確にするとともに、必要に応じ監査役による監査を実施

#### リスク管理

各種リスクに対し経営執行会議でマネジメントしており、必要に応じ危機管理委員会を開催「マイナス情報ホットライン」の常設による、リスク情報の早期入手と対応体制を確保

### コンプライアンスにおける 基本的な考え方

イノアックでは、コンプライアンスとは法令を守ることにとどまらず、従業員一人ひとりが高い倫理観を持って行動することであると考えています。企業としての社会的責任を果たし、お客様の期待に応えていくためには、法令順守はもちろんのこと、従業員が企業の一員としての社会的責任を意識することが必要不可欠です。

### 推進体制

イノアックは、コンプライアンス・倫理プログラムを導入し、社内の規程を整備するとともに、従業員のコンプライアンスへの意識を高めるための体制作りを進めています。この取り組みの一環として、グループ会社へのコンプライアンス徹底を強化しています。イノアックの社内手続規程をグループ会社にも適用可能なものへ改訂を行うとともに、グループ会社での法務研修を行いました。これによって、各グループ会社においてもコンプライアンスの順守を徹底することができました。

### コンプライアンス教育の実施

社内規程等の整備にとどまらず、従業員一人ひとりのコンプライアンス意識を高めるため、イノアック各拠点の営業担当者、調達担当者、新入社員、中途入社社員へのコンプライアンス意識教育を実施しています。他社で起こったコンプライアンス違反事例を題材に、自職場での問題を想定したケーススタディや、日常業務を行う中での疑問点についてのディスカッションを行い、個人の法令順守意識の向上を目的としています。

### 相談窓口の設置

コンプライアンスの徹底のためには、万が一、コンプライアンス違反行為があった場合に、企業として迅速な対応を取ることが必要です。そのためイノアックでは、法務グループ及び外部弁護士事務所を相談窓口とする「ヘルプライン」を設置し、誰でも直接相談できる窓口を設置しました。また、別途「内部通報および公益通報者保護規程」を設け、通報者が不利益な扱いを受けないよう体制を整えています。

### マイナス情報ボックスの設置

コンプライアンスに関わる情報のみならず、品質関連問題、安全・環境問題、営業・調達・その他の問題が発生した際には迅速に対応し問題の拡大を防ぐため、マイナス情報ボックス（受付窓口）を設置しています。

マイナス情報  
ボックス

品質問題

グローバル品質保証本部

安全環境問題

安全環境管理室

コンプライアンスに関わる情報

エグゼクティブオフィス 法務グループ

営業・調達その他に関わる情報

エグゼクティブオフィス

【お問い合わせ先】

株式会社 **イノアック コーポレーション**

エグゼクティブオフィス広報グループ

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南二丁目13番4号

TEL : 052-581-1086 E-Mail : KOHO@inoac.co.jp

グローバル品質管理部

〒446-8504 安城市今池町3丁目1番36号

E-Mail : GQ\_system@inoac.co.jp

<http://www.inoac.co.jp>